

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2025年10月29日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2025 FDK CORPORATION

2025年度中間期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2025年度中間期の業績	
中間連結決算のポイント	3
中間連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2025年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

中間連結決算のポイント

FDK

■ 連結全体

売上高：297.7億円(前年同期比：△28.8億円、△8.8%)

電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、アルカリ乾電池および電子事業で減収

営業利益：5.5億円(前年同期比：△2.3億円、△29.6%)

電池事業のリチウム電池で増益も、設備関連ビジネスおよび電子事業が減益

経常利益：4.4億円(前年同期比：△1.8億円、△29.5%)

固定資産売却による営業外増益も、売上減により減益

中間純利益：1.2億円(前年同期比：△2.3億円、△65.6%)

減損損失の計上により減益

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：△14.6億円、△5.8%

- ・ニッケル水素電池は海外の市販・工業用途向けが減少
- ・設備関連ビジネスは自動車関連設備が減少
- ・リチウム電池は国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加
- ・アルカリ乾電池が減少

電子事業：売上高 前年同期比：△14.1億円、△19.1%

- ・各種モジュールはモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少
- ・スイッチング電源は減少
- ・トナーは増加

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、決算のポイントです。

■ まず、連結全体についてです。

売上高は、電池事業のリチウム電池で増収も、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、アルカリ乾電池および電子事業で減収となりました。

営業利益は、電池事業のリチウム電池で増益も、設備関連ビジネスおよび電子事業が減益により全体として減益となりました。

経常利益は、固定資産売却による営業外増益も、売上減により減益となりました。

中間純利益は、減損損失の計上により減益となりました。

■ 次に、セグメント別についてです。

電池事業は、リチウム電池が増収となったものの、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けで減収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減収、アルカリ乾電池が減収となり、セグメント全体で前年同期比5.8%減となりました。

電子事業は、トナーが増加するも、各種モジュールがモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少、スイッチング電源が減少し、セグメント全体で前年同期比19.1%減となりました。

中間連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年同期比	増減率
売上高	326.5	297.7	△28.8	△8.8%
営業利益 (営業利益率)	7.8 (2.4%)	5.5 (1.9%)	△2.3 (△0.5pt)	△29.6%
経常利益 (経常利益率)	6.3 (1.9%)	4.4 (1.5%)	△1.8 (△0.4pt)	△29.5%
中間純利益※ (中間純利益率)	3.5 (1.1%)	1.2 (0.4%)	△2.3 (△0.7pt)	△65.6%

※親会社株主に帰属する中間純利益

1株当たり中間純利益	10.22円	3.52円	△6.71円
------------	--------	-------	--------

為替レート (円/1USD)	153.93円	146.20円	△7.73円
(円/1EUR)	166.49円	166.61円	0.12円

ROIC※	2.1%	1.3%	△0.8pt
-------	------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高は、リチウム電池は国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器用途向けが増加したものの、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けでの減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少、アルカリ乾電池が減少したことにより、事業全体として減収となりました。電子事業の売上高は、トナーが増加したものの、各種モジュールがモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶ディスプレイ用途の選択と集中による一部機種生産終了で減少、スイッチング電源が減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期と比べ28.8億円減少の297.7億円となりました。

■ 営業利益は、電池事業は原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンの影響があったものの、売上減や為替影響により、減益となりました。電子事業は売上減により、減益となりました。この結果、営業利益は資本金等の変更に伴ない外形標準課税が減額されたことによる販売費及び一般管理費の減少がありましたが、前年同期と比べ2.3億円減少の5.5億となりました。

■ 経常利益は、前年同期と比べ1.8億円減少の4.4億円となりました。

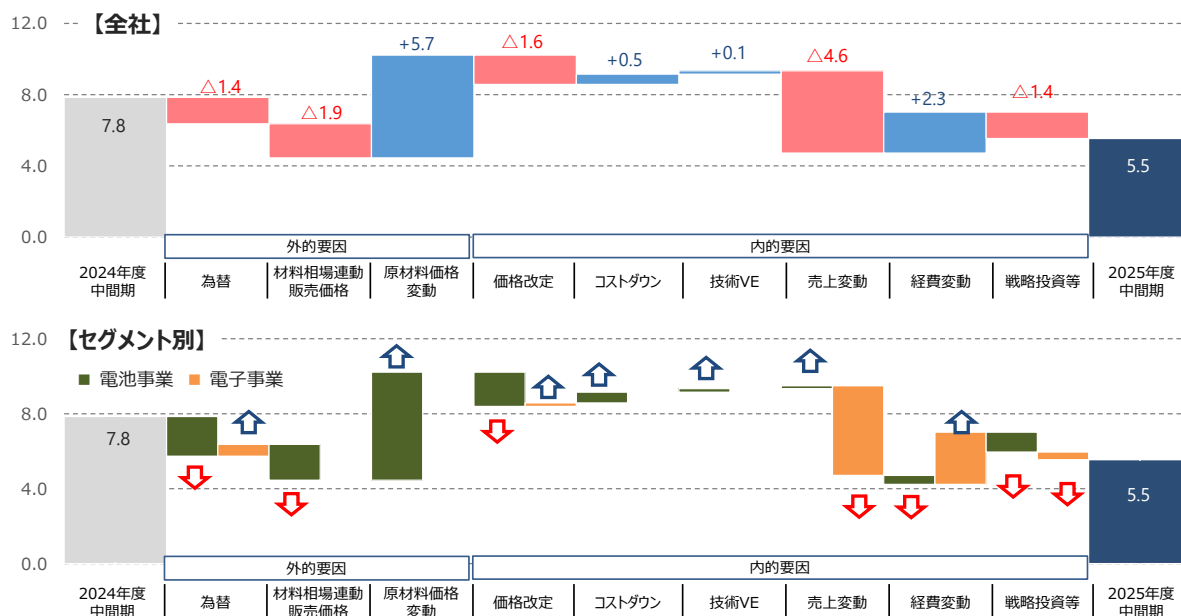
■ 中間純利益は、減損損失の計上により前年同期と比べ2.3億円減少の1.2億円となりました。

■ ROICは、前年同期と比べ0.8pt減の1.3%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

FDK

(単位: 億円)	2024年度中間期	2025年度中間期	前年同期比	増減率
営業利益(営業利益率)	7.8(2.4%)	5.5(1.9%)	△2.3(△0.5pt)	△29.6%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

営業利益の変動要因です。

■全体の営業利益は、原材料価格変動と経費削減による増益影響がありましたが、売上変動と販売価格影響による減益要因がありました。

売上減により、前年同期比2.3億円減少の5.5億円となりました。

■電池事業では原材料価格変動は好転要因で、価格改定、円高による為替と販売価格影響が減益要因となりました。

■電子事業では経費削減による好転要因がありましたが、売上変動が大きな減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科 目	2024年度	2025年度 中間期	増減	科 目	2024年度	2025年度 中間期	増減
流動資産	317.3	318.3	+0.9	流動負債	288.7	287.8	△0.9
(受取手形及び売掛金)	(135.3)	(148.3)	+12.9	(支払手形及び買掛金)	(78.1)	(68.2)	△9.8
(商品及び製品)	(26.3)	(26.0)	△0.3	(短期借入金)	(145.5)	(151.5)	+6.0
(仕掛品)	(30.6)	(32.6)	+2.0	(その他流動負債)	(22.7)	(25.9)	+3.1
(原材料及び貯蔵品)	(48.5)	(45.6)	△2.9				
(その他流動資産)	(20.1)	(11.3)	△8.7	固定負債	10.4	9.2	△1.1
固定資産	146.0	148.7	+2.7	(繰延税金負債)	(3.8)	(3.4)	△0.3
(有形固定資産)	(138.8)	(140.3)	+1.4	(退職給付に係る負債)	(0.4)	(-)	△0.4
(退職給付に係る資産)	(-)	(0.9)	+0.9	負債合計	299.2	297.1	△2.1
				株主資本	134.2	135.4	+1.2
				(利益剰余金)	(△444.5)	(+75.5)	+520.1
				その他の包括利益累計額	28.7	33.3	+4.5
				(為替換算調整勘定)	(24.8)	(29.1)	+4.2
資産合計	463.4	467.0	+3.6	純資産合計	164.1	169.9	+5.7
				負債純資産合計	463.4	467.0	+3.6
自己資本比率	35.2%	36.1%	+0.9pt	有利子負債残高	147.0	152.8	+5.7

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結貸借対照表です。

■流動資産は、前年度と比べ0.9億円増加の318.3億円となりました。流動資産増加の主な要因は、原材料及び貯蔵品などの棚卸資産や未収消費税などのその他流動資産が減少した一方、前年度での早期資金化の実施による影響で受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

■固定資産は、前年度と比べ2.7億円増加の148.7億円となりました。固定資産増加の主な要因は、電池事業への設備投資により有形固定資産が1.4億円増加したことに加え、退職給付に係る資産が増加したことによるものです。

■流動負債は、前年度と比べ0.9億円減少の287.8億円となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金や設備未払金などのその他流動負債が増加した一方、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

■固定負債は、前年度と比べ1.1億円減少の9.2億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債や繰延税金負債が減少したことによるものです。

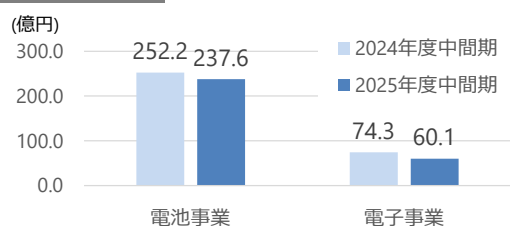
■純資産合計は、前年度と比べ5.7億円増加の169.9億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が1.2億円、為替換算調整勘定が4.2億円、それぞれ増加したことによるものです。また、当中間連結会計期間において、2025年6月25日開催の第96回定時株主総会での承認可決を受け、財務体質の健全化、将来の資本政策の柔軟性および機動性確保を目的として、資本構成の見直しを実施しました。これに伴ない、資本金、資本準備金及び利益準備金の額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることで欠損の補填に充当しました。

■有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度と比べ5.7億増加の152.8億円となりました。

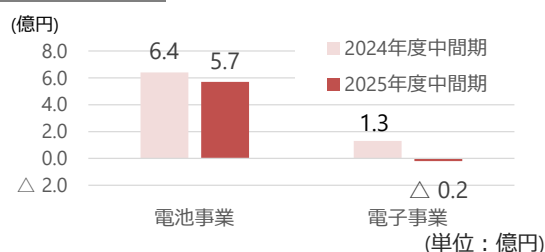
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



		2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	252.2	237.6	△14.6	△5.8%
	セグメント利益 (率)	6.4 (2.6%)	5.7 (2.4%)	△0.6 (△0.1pt)	△10.8%
電子事業	売上高	74.3	60.1	△14.1	△19.1%
	セグメント利益(△損失) (率)	1.3 (1.9%)	△0.2 (△0.4%)	△1.6 (△2.3pt)	—
合計	売上高	326.5	297.7	△28.8	△8.8%
	営業利益 (率)	7.8 (2.4%)	5.5 (1.9%)	△2.3 (△0.5pt)	△29.6%

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、リチウム電池が国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅警報器で増加しましたが、ニッケル水素電池が海外の市販・工業用途向けで減少、設備関連ビジネスが自動車関連設備で減少、アルカリ乾電池が減少したことなどにより、前年同期と比べ14.6億円減少の237.6億円、セグメント利益は原材料価格の変動や技術VEによるコストダウンの影響があったものの、売上減や為替影響により、前年同期と比べ0.6億円減少の5.7億円となりました。

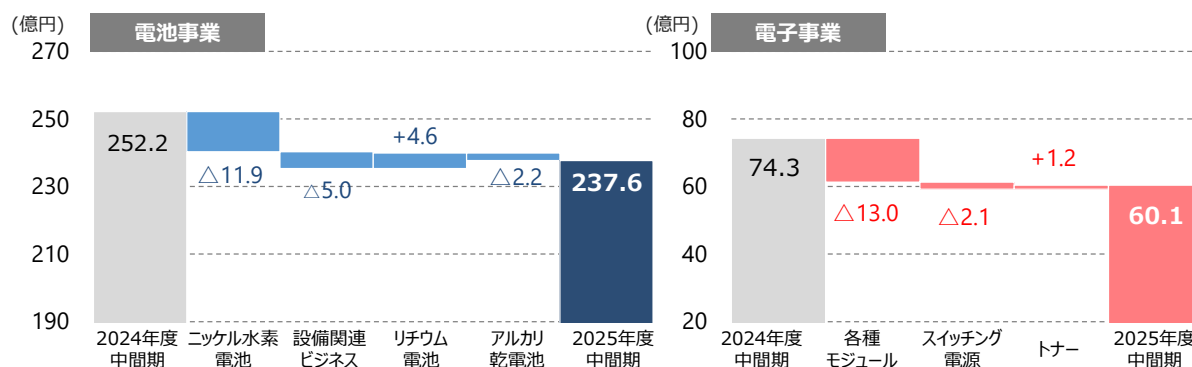
■ 電子事業の売上高は、トナーが増加したものの、各種モジュールのモビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶モジュールの選択と集中による一部機種生産終了による売上減、スイッチング電源が減少により、前年同期と比べ14.1億円減少の60.1億円、セグメント利益は売上減により、前年同期と比べ1.6億円減少の0.2億円の損失となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

		2024年度中間期	2025年度中間期	前年同期比	増減率
電池事業	売上高	252.2	237.6	△14.6	△5.8%
	セグメント利益(率)	6.4(2.6%)	5.7(2.4%)	△0.6(△0.1pt)	△10.8%
電子事業	売上高	74.3	60.1	△14.1	△19.1%
	セグメント利益(△損失)(率)	1.3(1.9%)	△0.2(△0.4%)	△1.6(△2.3pt)	—
合計	売上高	326.5	297.7	△28.8	△8.8%
	営業利益(率)	7.8(2.4%)	5.5(1.9%)	△2.3(△0.5pt)	△29.6%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

セグメント別の売上概況です。

■ニッケル水素電池は、海外の市販・工業用途向けで減少したことにより、前年同期を下回りました。

■設備関連ビジネスは、前年度まで続いた旺盛な自動車関連設備需要が本年度に入り一服したことにより、前年同期を下回りました。

■リチウム電池は、国内のセキュリティ・スマートメータ・住宅用警報器が増加したことにより前年同期を上回りました。

■アルカリ乾電池は、前年同期を下回りました。

続いて、電子事業については、

■各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けでの減少に加え、液晶モジュールの選択と集中で一部機種生産終了により、前年同期を下回りました。

■スイッチング電源は、半導体装置用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。

■トナーは、前年同期を上回りました。

2025年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	631.7	600.0	△31.7	△5.0%
営業利益 (営業利益率)	13.9 (2.2%)	14.0 (2.3%)	+0.0 (+0.1pt)	+0.4%
経常利益 (経常利益率)	12.6 (2.0%)	13.0 (2.2%)	+0.3 (+0.2pt)	+3.1%
当期純利益※ (当期純利益率)	5.3 (0.8%)	6.0 (1.0%)	+0.6 (+0.2pt)	+11.9%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	15.55円	17.39円	+1.84円
------------	--------	--------	--------

為替レート (円/1USD) (円/1EUR)	152.75円	142.50円	△10.25円
	163.76円	152.50円	△11.26円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

2025年度の見通しです。

- 売上高は、600億円で31.7億円の減収。
- 営業利益は、14億円、経常利益は13億円、純利益は6億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル＝142.50円、1ユーロ＝152.50円を想定しております。

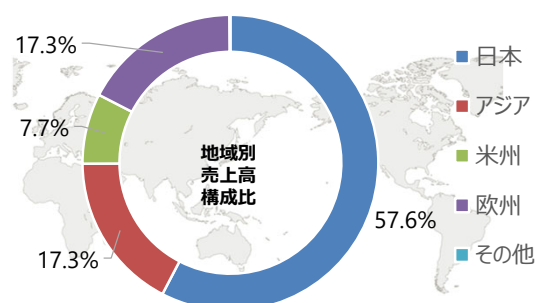
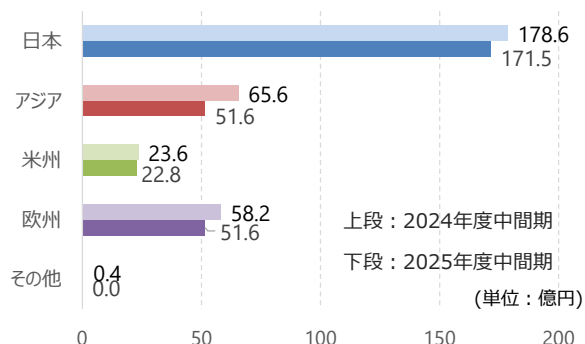
為替変動や電子事業の各種モジュールでの選択と集中による一部機種生産終了などで減収となりますが、電池事業で付加価値の高い機種での売上増により増益を見込んでおります。

参考資料

地域別売上高

FDK

(単位：億円)	2024年度 中間期		2025年度 中間期		前年同期比	
					増減率	
日本	178.6	54.7%	171.5	57.6%	△7.1	△4.0%
アジア	65.6	20.1%	51.6	17.3%	△13.9	△21.3%
米州	23.6	7.3%	22.8	7.7%	△0.7	△3.4%
欧州	58.2	17.8%	51.6	17.3%	△6.5	△11.3%
その他	0.4	0.1%	0.0	0.0%	△0.3	△81.2%
合計	326.5	100%	297.7	100%	△28.8	△8.8%
海外売上高比率	45.3%		42.4%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2024年度 中間期	2025年度 中間期	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	6.7	3.6	△3.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12.7	△11.5	+1.2
フリー・キャッシュ・フロー	△5.9	△7.8	△1.9
財務活動によるキャッシュ・フロー	3.0	5.8	+2.7
現金及び現金同等物の期末残高	33.0	45.4	+12.3

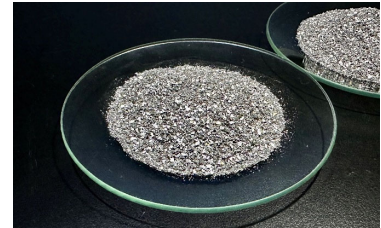
設備投資	12.8	14.1	+1.2
減価償却費	11.5	11.4	△0.1

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

1) 水素貯蔵タンク用高容量AB2型水素吸蔵合金を開発

当社は水素エネルギー社会の実現に向けた水素貯蔵タンク用の新材料として、高容量AB2型水素吸蔵合金を新たに開発し、2025年10月以降の量産出荷を予定。現在、量産炉でのサンプル生産を開始。
開発したAB2型水素吸蔵合金の特徴は、電池用のAB5型と比較して水素貯蔵量を20%増加、使い勝手に配慮した活性化プロセス等を有する。

**2) 「WinTech 2025」で講演いたしました**

当社は2025年9月26日(金)に台湾の華南銀行国際會議中心(台北華南國際會議中心)で開催された技術フォーラム「WinTech 2025」において講演いたしました。

3) 「かわさきSDGsランド powered by FDK」の協賛

当社は2025年9月28日(日)にUvanceとどろきスタジアム by Fujitsu(等々力陸上競技場)場外フロンパーク内特設ブースで開催された「かわさきSDGsランド powered by FDK」に協賛しました。
電池の仕組みを学びながら手作り乾電池キットで「世界にひとつだけのオリジナル乾電池」を作ることができるワークショップを出展いたしました。

© 2025 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

- 1) 当社は、水素エネルギー社会の実現に向けた水素貯蔵タンク用の新材料として、高容量AB2型水素吸蔵合金を新たに開発し、2025年10月以降の量産出荷を予定しており、現在、量産炉にてサンプルの生産を開始しております。
- 2) 当社は、台湾の華南銀行国際會議中心で開催された技術フォーラム「WinTech2025」において講演いたしました。
- 3) 当社は、Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu場外フロンパーク内の特設ブースで開催された「かわさきSDGsランド powered by FDK」に協賛しました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来